



麻疹(はしか)が急増しています。

かかる前に麻疹・風疹混合ワクチンを打ちましょう。

麻疹報告数は2013年以降増加傾向が続いています。2014年までは海外からの輸入症例の割合が高かったのですが、その後国内感染例の割合が高くなっています。これは、一旦輸入例として入ってきた麻疹ウイルスが、地域によっては国内流行しつつあることを示唆しており、憂慮される状況になっています。

麻疹(はしか)は年齢にかかわらず命に関わる重篤な感染症です。せき、鼻水、くしゃみ、目の充血などの風邪に似た症状が起こり、2~4日後には39度以上の高熱と発疹が耳の後部から始まって体の下方へと広がるのが特徴です。肺炎や中耳炎も起こしやすく、千人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

感染力が大変強い感染症なので、自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種が有効です。

定期接種の対象者は、早めに麻疹・風疹混合ワクチンを接種しましょう！

1才のお子さんにはお誕生日に早めに麻疹・風疹混合ワクチンをプレゼントしてあげてください。

第2期の接種は、小学校入学前の1年間となります。入学準備の一つとしてワクチンの接種をしてください。



住民検診のご案内

本年度も5月から10月までの期間、一宮市の住民検診が始まります。日本人の死亡数第1位は、ここ数年悪性新生物となっています(厚生労働省平成24年死亡順位別死亡数の年次推移より)。しかし、がんは早期に発見、治療することで大事に至らずにすむケースも多くあります。1年に1回は検診を受けて、自分の生活を振り返る機会としていただくとよいのではないのでしょうか。当院では胃癌検診については予約検査となっております。毎年10月に予約が集中し、そのために胃癌検診が受けられなかった、ということもあるようです。早めの予約をおすすめしております。

* 肺がん検診

肺がんは、日本のがんによる死亡数のトップになっています。無症状のうちに検診を受診し、早期のうちに治療すれば、約8割が治るようになりました。



* 胃がん検診

近年、日本人の胃がんによる死亡率は減少しています。しかし、胃がんになる人の数は、人口高齢化の影響で非常に増えています。つまり胃がんになる人は増加しているが、完治する人が多いため、死亡する人はあまり増加していません。これは日本における胃がん早期発見・早期治療の進歩が著しい証拠と考えられます。胃のX線検査によって、70~80%の確率でがんが発見できます。この検査は、胃がんによる死亡者が多かった日本で開発されたもので、日本が誇る検査技術です。

* 大腸がん検診

大腸がんは、かつて日本では少ないがんとされていましたが、2000年には、大腸がんになった患者数が毎年10万人を超えるようになっており、急速に増加しています。

その他 対象者は前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を当院でうけていただくことができます。